

2014年度 日本文化人類学会

第5回理事会 議事録(案)

日時：2014年12月13日(土) 14時～18時30分

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

<出席者> 関根、赤堀、池田、石田、太田、岡田、春日、亀井、岸上、窪田、栗田、桑山、慶田、
湖中、田中、名和、真島、松村、山本、和崎

<委任状提出> 上杉、瀬川、松田

[承認事項]

1. 2014年度第4回理事会議事録
2. 新入会員(15名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 事務局職員の更新について、雇用に関する申し合わせを確認のうえ、雇用更新を承認。

[報告事項]

1. 庶務理事報告
 - ・大学評価・学位授与機構より「国立大学教育研究評価・機関別認証評価専門委員推薦の依頼」があり、総務会で検討の上、日本文化人類学会第26期理事会から機関別認証評価委員会専門委員候補者(9名)を推薦することを決定し、9名に内諾を得た上で推薦を行ったことを報告。
 - ・学会費未納4年目の会員に対して2014年12月31日までに年会費納入ないし正式な退会手続きのいずれかの手続きをとらない場合には退会処理を行う旨を本年度会費請求時に通知済みであることを説明の上、今年度末で退会処理を行うことを確認。なお、12月中に学会費未納4年目の会員にメールで退会意思の確認及び会費納入依頼を行うこととした。
2. 会計理事報告
 - ・学会50周年記念事業準備委員会より、国際研究大会会計に関する外部監査が完了しJNTO(日本政府観光局)へ報告書を提出したとの報告を受けたことを報告。
3. 総務理事報告
 - ・平成27年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)」の計画調書を提出したことを報告。
4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき9件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・学会HPの質問コーナーへ問い合わせがあり、回答を行ったことを報告。
 - ・史学会より電子図書館事業終了後の対応について問い合わせがあり情報交換を行ったことを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：79巻3号の進捗状況と79巻4号の予定について報告。
 - ・JRCA編集委員会：Vol.15の進捗状況について報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：平成27年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「国際情報発信強化(B)」の計画調書を提出したことを報告。また、平成26年度科学研究費採択事業「日本発東アジアネットワークの構築を基幹とする文化人類学研究の国際情報発信強化」の一環として「国際化する日本の文化人類学と国際情報発信強化の試み 第1回 国際シンポジウム」を2014年11月22日(於法政大学)に開催したこと、ジョイ・ヘンドリー氏の講演については学会誌へ掲載予定であることを報告。今後の同事業によるシンポジウム等の開催では、他の学会行事との日程調整が事前に必要であることを確認した。
 - ・法人化検討委員会：2015年1月7日に委員会の開催を予定していることを報告。
 - ・国際連携委員会：2014年10月に台北で開催されたWCAA会議へ出席したこと、同会議ではWCAAの活動

状況、会計、新執行部メンバー等が報告されたことを報告。

- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会の資料公開に関する神奈川大学常民文化研究所との文書案を検討中であること、この文書案については次回理事会までに総務会へ提出する予定であることを報告。
- ・研究大会運営検討委員会：2017年度以降の研究大会担当校について至急検討を進めることとし、総務会で原案を作成の上、会長から交渉・打診を行うことを確認した。
- ・研究発表査読委員会：第49回研究大会の発表要旨の査読を進めていることを報告。
- ・地区研究懇談会：各地区の研究学会開催状況、開催予定を報告。JASCA-INFOや学会HPへ掲載する地区研究懇談会の開催案内はなるべく簡潔な内容にするよう依頼があった。
- ・学会賞選考委員会：評議員会からの推薦を受け、学会賞・学会奨励賞受賞候補者の選考を進めていることを報告。
- ・文化人類学教育委員会：前回理事会で報告された若手WGでの検討結果を受けて、各取り組みを進めていくことを確認した。
- ・次世代育成セミナー実施運営委員会：2014年11月22日に次世代育成セミナーを開催したことを報告。大変に意義深い取り組みであるため、今後も積極的に継続して行くことを確認した。

〔審議事項〕

1. 学会50周年記念国際研究大会会計について
 - ・赤堀理事より、学会50周年記念事業準備委員会より学会50周年記念事業準備委員会の口座に関する収支報告書及び監査報告書が提出されたことが報告された。
 - ・石田理事より、資料に基づき、学会50周年記念事業準備委員会の収支報告書が作成され、外部の公認会計士による監査が完了したことが報告された。JNTO（日本政府観光局）を通じて寄附者への報告書・礼状の送付をもって学会50周年記念事業は終了する旨の説明がなされた。
 - ・赤堀理事より、今後、学会の本会計から支出した部分も含め、50周年記念事業全体に関する会計報告を受ける予定であること、第48回研究大会準備委員会と学会50周年記念事業準備委員会が証憑書類を事務局へ送付し、赤堀理事が確認を行う予定であることが説明された。なお、学会50周年記念事業に関する学会監事による内部監査を2014年度学会本会計の監査と同時に受けることとした。
2. 学会誌オープンアクセス化への対応について
 - ・栗田理事より、電子図書館事業終了後の対応について、J-STAGE Lightへの移行やオープンアクセス化等の選択肢及びそれぞれの問題点について説明がなされた。オンラインジャーナル化に伴うメリットとデメリット、年会費、会員の権利、法人化に関する問題点等について意見交換を行った結果、学会運営の根幹に関わる事項であるため、会員からの意見聴取が必要であることを確認し、今後、オンラインジャーナル化に係る費用の試算をもとに総務会でさらなる検討を加え、次回以降の理事会で審議を継続することとした。
3. 学会誌表紙リニューアルについて
 - ・田中理事より、前回理事会での議論を受けてワーキンググループで検討した結果について資料に基づきデザインの方向性やデザイナー候補等の説明があり、次回以降の理事会で学会誌のオープンアクセス化に関する議論と併せて検討を行うこととした。
4. 高齢・若手会員の会費減免措置について
 - ・松村理事より、前回理事会での要点について説明があり、会費の減免措置について意見交換を行った結果、学会誌のオープンアクセス化に関する議論と係わるため、継続審議とすることとした。
5. JRCA編集委員の追加について
 - ・桑山理事より、今後のJRCAの編集体制の国際化、投稿権の拡大等の方向性と併せて検討した結果、今回は編集委員の追加を見送ることが提案され、承認された。
6. 次世代育成セミナー運営委員の追加について
 - ・春日理事より、次世代育成セミナー運営委員の2名追加について提案があり、承認された。
7. その他
 - ・欠席の上杉理事に代わり、栗田理事より、書評用書籍を学会事務局へ送付すると書評の対象となる可能性が高いことをJASCA-INFOと学会HPで会員へ周知することが提案され、承認された。配信文の作成は上杉理事と総務会に一任することとした。
 - ・松村理事より、任期満了に伴う平成27年度渋澤賞選考委員会の委員長・委員の推薦依頼があつ

たことが報告され、委員長と新規委員推薦に関する総務会案が承認された。

- 松村理事より、3月に予定されていた理事会は4月へ変更すること、日程については後日調整を行うことが説明された。

以上